

会 議 録

会議の名称	令和6年度第4回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時	令和7年2月25日（水）午後2時
開催場所	保健センター1階大会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	☒ 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	
会議結果	別紙のとおり
発言内容・ 発言者名（主な発言要旨）	別紙のとおり
提出資料	
その他	

令和6年度第4回小金井市食育推進会議 会議録（案）

日 時 令和7年2月25日（火）午後2時～午後3時30分

場 所 小金井市保健センター1階大会議室

出席委員 13人

会 長 山 岸 博 美 委員

副会長 松 嶋 あおい 委員

委 員 牧 野 ま や 委員 雀 部 かおり 委員 太 田 篤 胤 委員

委 員 三 毛 明 人 委員 長谷川 郁 子 委員 藤 澤 弘 委員

委 員 北 脇 理 恵 委員 井 上 正 子 委員 服 部 聡 委員

委 員 山 田 五 月 委員 大 澤 秀 典 委員

欠席委員 3人

委 員 高 橋 健太郎 委員 大 石 和 孝 委員 横 山 英史子 委員

事務局職員

健康課長 伊 藤 崇

健康係長 渡 邊 知 子

健康課主任 近 藤 仁 美

傍 聴 者 0人

（午後2時 開会）

○事務局 今日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。時間になりました。まだ、今日欠席連絡は特に受けていなくて、一応、北脇さんから遅れてきますという御連絡をいただいた状況になっています。ほかの方4名につきましては特に連絡は受けていないので、一応は来られるかなというところで、一応今日人数的にも前もっての皆さんの予備調査で会議自体は成り立つということになっていますので、途中で入ってきていただくという形で行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○山岸会長 ありがとうございます。それでは、本日はお忙しいところ御出席いただき、ありがとうございます。これより令和6年度第4回小金井市食育推進会議を開催させていただきます。

出欠のほうは今、事務局のほうから御報告がありましたので、そのとおりといたしたいと思います。審議会として成立するということです。

次は配付資料の確認のほう、事務局のほうからお願いできますでしょうか。

○事務局 クリップで留めてあるものですが、一番上が次第となっております。すいません、次第の裏に名簿は印刷させていただきましたので、同じ1枚に両面という形になっております。

それから次に、第3回の食育推進会議の会議録（案）になります。一応皆さんに送って、訂正していただいたものが案として印刷してあります。

その次なんですけれども、前回の市民アンケートで、市民の方に配った形式で3種類あります。ごめんなさい、1つ抜かしました。3枚のA3のちょっと細かい字が書いたもの、これが市民アンケートの案になっています。一応前のを基にして作ってあるものです。これ3枚はホチキスでとじてあります。一応今日これを見ながらやっていこうと思っています。

このホチキスのもの以外に、小金井市民の食意識に関する調査というのがありますが、こちらは小金井の直接アンケートをやっていただく市民の方に配付したものです。これ全部重ねてあるんですけれども、最後の2枚は、1つ、現在御家族の中で小中高校生のいる御家庭の方のみお答えくださいというのと、一番最後は小中学生対象、食育に関するアンケートというのが入っております。

それから、遅くなりましたが、2025年の小金井市食育カレンダー、水色のちょっと大判のものですね。そのほかに、いつもどおり第4次小金井市食育推進計画の閲覧用の水色の冊子と、前回のアンケートの結果の閲覧用のピンク色の表紙の冊子を置いています。

ちょっと資料が多いんですけれども、お手元に資料がない方いらっしゃいますでしょうか。もし途中で過不足等気がつきましたら、途中でも結構ですので、すいませんが、事務局のほうに声をおかけください。閲覧用の計画及びアンケート結果につきましては、お帰りの際、机上に置いたまままでお願いいたします。

以上になります。

○山岸会長 ありがとうございます。恐れ入ります。ちょっと確認させていただきますが、これホチキス留めではないですけど、こちらはA4のちょっと細かい、A4、3枚のものですね。両面印刷してある、こちらのほうが前回のアンケートということでよろしいでしょうか。ちょっと斜線とかも引いてありますので。

○事務局 それを使います。

○山岸会長 それを基に、A4の縦のほうが今回御説明いただくという新しいほうのアンケートで。

○事務局 それが前、配付したものです。

○山岸会長 これが前のほうですか。じゃ、こちらのほうで。

○事務局 これを使って今日は、会長、進めていただけますでしょうか。

○山岸会長 失礼いたしました。申し訳ございません。ありがとうございます。

それでは、議事に入る前に、事前に皆様のところに送付されている前回の議事録案のほうあるかと思っています。御自身の発言内容を確認していただきたいと思います。訂正された方は訂正どおりになっているか、確認していただくお時間を取りたいと思います。

どうでしょうか、この議事録でよろしい方は挙手のほう、お願いいたします。ありがとうございます。何か気がついたことがありましたら、終了までに事務局のほうにお願いいたします。

それでは、意見、提案シートについて事務局からお願いいたします。

○事務局 先ほど紹介がありました表紙なんですけれども、ちょっと字が細かいんですけれども、一応、紙3枚です。最初の2枚は裏表が印刷されていて、最後は表だけ印刷してあります。これはうちのほうにあった市民アンケートを、35問まであったんですけれども、それをちょっと細かく一覧表みたいな形で印刷したものになります。

ごめんなさい、1つ抜けていました。意見提案シートについてです。今回は意見提案シートの御提出はありませんでした。

○山岸会長 ありがとうございます。それでは、議事に入り、先ほども説明ありました市民アンケートについてよろしくお願いいたします。

○事務局 先ほどの印刷物をお出しください。現在の食育計画については、令和8年までとなっています。国や東京都は小金井市より1年早い計画策定となりますので、来年度末には新しい計画が分かると思うので、計画策定に反映していきたいと思っています。

小金井市では令和7年度には計画策定をするための市民アンケートを行う予定です。なお、アンケートの目的は、現在ある指標にどのくらい達したかを見るためのものとなります。なお、アンケートの内容につきましては、今日会議1回、それから、あと来年度ですね、4月以降、大体2回で終わるようにしたいと思っています。

アンケートの時期につきましては、10月末から11月初めに実施、学校については、学校行事と重ならないよう、前回同様11月末までに配付して、実施していただくというような形で考えております。年度末というよりは、年始までには結果が出ると思いますので、また、それをもって計画策定となります。

今のところのこちらで考えている予定を簡単にお話いたします。アンケートの内容については、そのときの時代背景を映したものの以外はほぼ同じ内容で行ってきました。市民アンケートについては、実際に委員の皆様が就任されたときに、こちらから水色の計画の冊子とともに、表紙がピンク色のものを配付いたしました。ただし、ページ数がすごくあるものなので、それを見ながらというよりは、質問事項をまとめたプリントを作ったほうがよろしいと思い、今日このような資料にさせていただきました。

前回はコロナに特化したものと、今回のアンケートでは多分必要ないと思われるものもあり、また新たに加えたもの、表現を訂正したほうがよいもの等もありましたので、前もって事務局と山岸会長とで一部訂正をし、訂正した箇所を分かるようにしたものが今日配付したA4のプリントになります。

それから、アンケートの対象の方に対し、一番大きく変更したのは、前回回答率を少しでも上げたいという御意見から、多くの意見を反映させるために、「あなたやあなたの家族」という問いにいたしました。統計的にはクロス集計ができないことが一番のネックになったので、今回はその前に戻り、「あなたは」に変更したいと思っています。

そのほかのアンケートの資料につきましては、実際に市民の方に配付したものです。市民に配付したもので、本体以外に保護者用、通常のアンケートに同封して、小中高のお子さんのいる方のみが回答するものと、学校で配付する小中学生用があります。小中学生は、小学生が4年生、中学生が1年生が対象で、どちらも2校ずつが対象となりました。

保護者用については、小中学生と同様の質問をしていますが、実際にはアンケート回答者の2割ほどしか対象者がおらず、小中学生のほうはほぼ配付をした人たち、対象者全員がほぼ回答してくださったので、実態に近い回答が得られたと思うので、小中学生のほうは今回も実施予定ですが、保護者用は事務局としては今回は実施しない方向で考えています。

それでは、本日は市民アンケート本体について御意見等をいただこうと思いますが、ひとまず1つつ読み上げていきます。それで、一応問10まで読み上げたところで御意見はいただこうと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、市民アンケート問1のところですね。「あなたの性別をお答えください」。男性、女性、回答しない。前回のアンケートでは、男性・女性以外を入れるようにいたしました。

それから、2番「アンケートに答えてくださるあなたの年齢をお答えください」ということで、前のアンケートから、18歳が成人になったことから、10代から70代まで10歳刻みにしてあります。

それから3番目ですね。「あなたを含めてあなたの世帯は何人ですか」。

それから、4番目「家族で食事を共にする人は、何人いますか」。

5 番目ですね。一応訂正した部分を読みます。「あなたは毎年健康診断を受けていますか」。

6 番目。「あなたは定期的に歯科検診を受けていますか」。この5と6の質問につきましては、食べることに大きく関わってくるということで、前回から加わったものになります。

それから問7ですね。「あなたの食生活でコロナ感染拡大により、変わったことがありましたか」というのと、2で「あなたの食生活が変わった理由を教えてください」というのは、コロナに特化した質問になりますので、削除させていただきたいと思います。

次が、前の形でいえば問6なんですけれども、「あなた自身が今までの食生活で不安に思っていることは何ですか」。

その次、問9「あなたは食物アレルギーがありますか」。それから、その次が、あると答えた方、「該当するアレルギーを教えてください」。3番目が、「食物アレルギーがあることでお困りのことは、ありますか」。ある場合は、一番最後の自由記述欄に御記入くださいというものです。

こちらは回答を訂正いたしましたのが、9-2、今度、8-2なんですけれども、該当するアレルギーを教えてくださいといったときに、この順番がばらばら並んでいくんですけれども、会長のアドバイスで、消費者庁の特定原材料の表というのがあるんですけれども、その表と同じ順番のほうがよいのではないかとということで、食品の並べ方を変えています。

それから、朝食の問題ですね。「あなたは朝食を食べますか」。「あなたが朝食を食べない最も大きな理由は何ですか」「あなたは朝食を食べないと一日の栄養必要量を満たせないことや生活習慣病になりやすいことを知っていますか」。

その次、最後10番目です。「あなたは主食・主菜・副菜のそろった朝食を毎日食べますか」。

10-2、次のページになっちゃうんですけれども、「あなたは朝食で主食に何をよく食べますか」。それから10-3「あなたは朝食で主食以外に主に何をよく食べますか」。10-4「あなたはいつ頃から主食・主菜・副菜のそろった朝食を食べなくなりましたか」。一応ここまでが、枝分かれはあるんですけれども、一応10問あって。

ここまでで1つずつ皆様に御意見を伺っていこうと思いますので、よろしくお願いいたします。

問1の性別のところにつきまして、これは前のままでよろしいでしょうか。

問1に対して何か御意見ありますか。

○藤澤委員 コロナに関して、コロナの削除分が出ているんですが、これ、コロナに感染したことによって食生活がどういうふうに変ったのか、ちょっとそういうものを取り入れたほうがいいんじゃないかなと思いますが。感染する前と感染後に食生活が変わっている人が結構いると思うんですよ。味覚がなくなったりとか、いろいろ。そういうのも一言アンケート的に入れてみたら、感染症がどういう対応

すればいいのかとか、そういうふうに見えるのではないかなと思うんですが、どうでしょうか。

○松嶋委員 私も同じことを考えていて、感染するだけではなく、うちの母とか高齢者は人と会わなくなったり、人とお食事をとれなくなったりするきっかけになってしまって、孤食が進んだり、また、昼御飯食べないというふうなところで、感染拡大前の食生活に戻れていない方は結構食習慣としてあるの
で、これを全く削除しなかったことにするのはちょっと違和感があって、設問は変えてもいいと思うんですが、コロナ感染拡大前と比べて食生活が変わった方というのはかなりきつといらっしゃるかな。
まだお友達と直接会って御飯食べるのは怖いと言っている方もいらっしゃるの、まだ、平準に戻っているとはいえ、やっぱりマスクをして、人に会いたくないという方も、デリケートになっている方はいて、それがこの二、三年で食生活ががらっと変わった方は多いんじゃないかと思うので、この設問を全部抜いちゃうのはちょっと。ここまで細かくなくてもいいんですけど、コロナ感染の時期を経た後に以前と変わっていることとかも少し触れたほうがいいのではないかと。

○山岸会長 いかがでしょうか。そうすると、例えば、今、設問7-1と7-2がありますけれども、例えば7-1でコロナ前後でというようなことにした場合には、すごく細かく26まで書いてありますけど、当てはまるような形になりますかね。例えば、先ほども今おっしゃったように、なるべく外に出て外食を控えるようになったとか、もしかしたらコロナになったことによって、コロナが今落ち着いているかもしれないけれども、継続しているというような。

○太田委員 変化したか、しなかったかを聞いて、その他で自由記述で拾ったほうがいいような気がします。

○松嶋委員 全く変化しなかったという質問があって、その後にどのように変化しましたかでもいいのかもしれないですね。

○太田委員 26読むの大変だと思う。

○藤澤委員 あんまり細かくじゃないほうがいいと思うんですよ。

○松嶋委員 変化したか、しなかったかということと、変化したとしたら、人と会う機会が減ったとか、食事をとる回数が減ったとか。

○太田委員 好みが変わってきたというのが多いですね。

○松嶋委員 好みが変わったというのものもあるかもしれないですね。外食を控えるようになったというのが大きいんじゃないか。

○太田委員 そうですね。外食は嫌だという人もね。

○事務局 ほかの方はいかがでしょうか。

○山岸会長 そうしますと、7-1で変わりましたか、はいか、いいえ。それを変えたところは自由

記述というふうにしますか。自由記述、多分アンケートの集計ではちょっと大変かもしれないので、幾つか抜粋して、その他そういうふうにしておくのも1つかなと思います。

○山田委員 コロナで食生活が変わったという報告書もあるので、ある程度その中からピックアップして、その他のほうが、論文が出ているので。

○松嶋委員 それを当てはまるかどうかを聞くのがいいかと思います。ありがとうございます。

○三毛委員 よろしいですか。ちょっと市の方に確認したいことがあります。コロナに関してですが、これはあくまでも食意識に関する調査ということのアンケートで、我々は食育推進の立場から議論するんだと思います。一方で、コロナが感染拡大して、一応落ち着いたといいながらも、例えば高齢者に対してはコロナのワクチンの助成なんかもされているわけですから、行政として、コロナの感染が落ち着いたけれども、決して安心してはいけないというか、気をつけなきゃいけないよというのが、今、市が置かれている立場じゃないかと私は思うんです。そういった場合に、食意識に関しても、今、皆さんが話されているように何らかの問いかけをして、もしそこにコロナの感染拡大が収まった後、何か食生活の変化があったり、健康上の不安を抱えている市民が多いのであれば、それに対して、次にどのようなアクションを起こすかということを考えるための非常に重要なアンケートになると思いますし、それを受けて、また次のスパンのアンケートにも今回のアンケートの結果が生かされていくんじゃないかなと思います。どういう形にするかというのは知恵を絞るところですけども、例えば、先ほど小中高のお子さんをお持ちの方のアンケートをやめまうと言われたんで、その代わりに、前回はコロナの感染拡大期にあったので、こういう問いかけをしましたけれども、今回、皆様の食生活の中でコロナの影響を受けた方はいらっしゃるかもしれませんが、何か記述したい方がいれば書いてくださいというようなことで、例えばペラ1枚をそのために入れて、そこに書きたいという人には自由記述でお願いしたらどうでしょうか。確かに集計するのは難しいかもしれないけれども、もし非常に重要な記述があれば、それを今度は次のスパンのいろんな行政施策に生かせるのじゃないかなというふうに思いました。以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。いかがでしょうか。自由記述で書いていただくというのがよいのではないかという御意見がありますが。

○太田委員 回収できる件数ってそんなに多くないと思うんです、自由記述にした場合。例えば、選択にした場合に、全く変わらないという部分が選択肢、前回のところにあったりするんですが、食事時間が規則正しくなったが何%いたということが情報として得られても、使い道がないような気がするんですね。やっぱり自由記述にして、丁寧に拾っていったほうが統計的な処理をするだけの数が集まるのかということと、それが何%だったらどうだということが何も言えないような気がするので、こういう選択のさせ方というのはあんまり有効ではないのかなという気がするんですけど。これ何人ぐらいが回答

してくれる予定なんですか。

○事務局 無作為で2,000人に送り、4割弱の回答です。2,000人の4割だから800いかないぐらい。

○太田委員 多分、二、三割の人が書くとすれば、100件ぐらいのことに、自由記述でもなるんで、そのほうが情報としては取れるんじゃないかな。

○事務局 これをどう使うとかではなくて、そのほかという、ほかの回答もそうなんですけど、一応そのほかと書いてあるところは自由記述と言いは悪いですけども、要するにその選択肢になかったのを書いてもらっているという形になるので、コロナのそこが重要だと思えば、別の紙を入れてもいいんですけども、全部そういう形で回答するので、別にそのほかという欄を作ればいいのかと思います。

○雀部委員 前回だったか、前々回だったか、アンケートの該当者に家族が当たったことが実際あって、ちょっとボリュームが多くて大変だって本人が言っていたので、どうしても項目が多いと、それだけ枚数も増えていきますし、気持ち絞り気味にして、多分、圧倒されちゃって面倒くさくなっちゃって、最初から答えないみたいな人ももしかしたら中にはいらっしゃるのかしらと思ったんですけど、うちの家族は、私がこういうことに関わっているんで、多分やらざるを得ないって思って、やってくれたと思うんですけど、普通の方は多分見たときのボリューム感が結構きついと、最初から諦めてしまう人もいらっしゃるのかなと。

そうすると、アンケートの回収率がなかなか上がらないので、ちょっとその辺は絞る感じで、基本的に、あと何個か項目を出し、あとはその他の欄は自由記述ですので、その他の欄にお書きくださいみたいな感じにさせていただいたほうがいいかなというふうに、ちょっと書く側の気持ちを考えると、そんな感じもしました。

○事務局 ごめんなさい、私は事務局で、今、意見、別にここに今出ているものを全部絶対やってくれとかというのではなくて、一応、去年のまま出してもなかなか話が進まないんで、一応事務局として、皆さんの議論に役に立ったらいいなということで、一応こういう提案がありますよという形にしているので、別に皆さんの意見を否定するとか、そういうことでやっているのではないので、意見があったらどうぞ出していただけたらというふうに考えます。

○雀部委員 明らかにコロナのやつはちょっと多いかなって、見た感じもちょっと多いかなとは思っているので、丁寧に答えてくださる方も多分いるとは思うんですけど、関心がない方はなるべく、イエス・ノーまで極端ではないですけど、せいぜい5個ぐらいの間に収めてもらえるとありがたいのかなと思ったりしました。それ以外は書いていただくという形で。

だから、ごめんなさい、質問も、コロナ後に、コロナ以降、発生していた期間の後、何か食生活で影響が出たことはありますかぐらいの質問でいいのかなと思ったりするんですけど。何かあったり、実際かかれて例えば味覚が変わったとか、ちょっと人と会うのが嫌になったとか。先ほどおっしゃっていたように代表的なものだけ、いわゆる言われているようなものだけ5つぐらいあればいいかなというふうに思うんですけど。

○山岸会長 ありがとうございます。ほかにありますか。

あと、食物アレルギー及び朝食の項目もございましたけれども、そのあたりの項目について御意見等ありましたら、お聞かせいただければと思います。

○太田委員 よろしいでしょうか。

○山岸会長 お願いします。

○太田委員 コロナのやつの下の「あなた自身が今までの食生活で不安に思っていることは何ですか」というところの、結構ヘビーな選択肢が12個あるんですが、それはどういう理由でこの項目になっているのかという背景を教えていただければと思います。

○事務局 一応これは前、委員さんから出た項目で、このアンケートで聞くことで新たな課題を見つけたり、何かに生かすということもできるのではないかとということで、追加されたものになります。

○太田委員 オリジナルで考えたということでしょうか。

○事務局 そうですね。というか、委員さんのほうから出た。

○山岸会長 前回の結果では、特にないが42.9%ですが、一番多かったのは、安心・安全な食品を購入できているか不安なことが22%。次に、一日分の栄養を満たす献立が分からないことが14.5%。生活習慣病にならないような食生活が分からないことが14.7%というふうな順番になったことで、今、ホームページのほうでも献立のレシピを紹介していただいているのが、そういったことも含めて、これを反映させているのかなというふうには思っているところですが、趣旨としてはそういった流れでよろしかったでしょうか。

○牧野委員 すいません、牧野です。問8から7の9番「食品にじゅうぶんお金をかけられないこと」って項目があるんですけども、最近すごく食費が上がってしまっていますよね、物価が。お米もお野菜も。だから、そのあたりに対しての質問事項というのを何らかの形で付け加えたほうがいいんじゃないかなと思ったんですけど。

○山岸会長 ほかの方いかがでしょうか。

○松嶋副会長 松嶋です。問8の11番「偏食などの子どもの食生活」というふうに書いてあるんですけど、偏食が心配なのか、子供の食生活自体が心配なのかがちょっと分かりづらくて、子供の食生活に

関して心配事があるということかと思いますが、偏食というのは別に子供だけではないので、大人の栄養バランスに関しても心配はあると思います。この辺の質問の趣旨が分かりづらいかなと思ったので、よろしくお願いします。

○北脇委員 北脇です。問8の「食生活で不安に思っていることは何ですか」って考えたときに、自分だったら何て答えるだろうと思うと、結局、質問が多くても、いくらでも増やせるというか、例えば、うちは今、中学生とか高校生なので、コンビニ食とか、加工の食べ物をお小遣いで買うようになって、コンビニも増えて、気軽に食事おやつみたいなのが手に入るじゃないですか。そういうのとか不安だなと思うと、その他に入っていないんですよ。加工食品になるのか、買い食いになるのか分からないんですけど、それは自分のことに対してじゃなくて、子供のことに對してなんですけど、いくらでも不安なことって人によって増やせて、たまたま項目であれば丸するので、なければ、書くのも思いつかない。

先ほども雀部さんの声もあったように、問題が多過ぎると、それだけで疲れちゃって、書きたくないし、その他の欄であっても、結局そこに十分に時間をかけて考えようと思う反面、まだ後ろにいっぱい紙があるな、いいや、ここはさっさと行ってしまうおうってなるので、そういった意味では、今、選ぶのが11問あるんですけど、それが必要なかどうかというのを考えると、もし載せるんだったら、その検証もしたほうがいいのかなと。すいません、答えになっていないんですが、取りあえずちょっと多いかなと思いました、質問が。

○松嶋委員 同じようなことなんですけれども、食事時間が不規則になった、正しくなったって、同じような質問が2個ずつあって、すごく読みづらいので、食事時間がとって1問にまとめ、増減って、増えたとか減ったというふうに、あと括弧で、例えば、ふだんより1日当たりの購入量が、後に括弧、増えた、減ったというふうな形で、1問にできないのかなと。

今うまくは言えないんですけど、同じ質問の反対側のことがあって、これはコロナでいろんな影響が、それぞれすごくたくさんいろんなことに影響を受けた方が増えたからだと思うんですが、お菓子を食べる量が増えた、減ったという質問が、別の質問にすることにそれだけ意味があるのかなという。食生活が変わったり、生活習慣が変わったということを聞きたいんですけど、その辺の問題点がまとめられたら、26は多いですね。

○山岸会長 クロス集計をしたかったのかなと思うんです。増えた人がいるのか、減った人がいるのか。ただ、今回ちょっと見直したときに、回答率を上げるというようなことを目標の1つに挙げるとしたら、もう少し、お酒を飲む量が変わった、増えた、または減ったぐらいでも、私たちの検証としては大丈夫なのかなというふうには思います。

○松嶋委員 むしろ、25番目の「人と会うことがないので一人の食事が多くなった」というのが一番

後ろのほうの質問にあるけど、これはそうだろうと思うものが結構下のほうにあると、読んでいて面倒くさくなった頃に大事な質問があるのよという感じがちょっとしました。

○山岸会長 15番とか25番がもしかすると、回答の選択の多い項目かもしれないです。

○事務局 一応、確かに見ているだけでたくさんあり過ぎるので、じゃあどうするかというと要するに回答の選択肢のほうをもっと少なくするということでよろしいですか。

今、問7の部分と、次の「あなたが不安に思っていることは何ですか」、そこの2つの質問は選択肢が多過ぎるから、選択肢を減らすというのが皆さんの御意見というふうに理解してよろしいでしょうか。

○松嶋委員 すいません、何度も。また戻るんですけど、問3も「あなたの世帯は何人ですか」って書いてあって、8人まで行くと、本当に8人家族の人って多分少ないと思うので、5人以上とか6人以上とかいうふうな形でくくってもいいのではないかと。7人と8人家族の差はあまりにもないと思うので、一人暮らしなのか、ちょっと大勢でいらっしゃるのかということぐらいで質問が少なくできるのかなと。その他何人というのが必要かどうかというのは。

○事務局 ここは本当はこういう聞き方ではなくて、前は、家族がどういう人がいるかというようなことを聞いていたんですね。要するに、子供でも、どのぐらいの年齢か、また、おいとか、めいとか、おばとか、そこまで入っていたんですけど、それを一切切るのに、人数という形でしたので、ちょっと多い人数が残ってしまったんですけども。

○松嶋委員 むしろ聞きたいのは、多世代で住んでいるのか、お子さんが多いのかというようなことのほうが、質問としては、どういう家族構成なのかという、おじとかおばと住んでいるのは意外とレアケースで、5人家族といっても、おじいちゃん、おばあちゃんとお子さんが1人なのか、5人でお子さん3人なのか、4人なのかというところでは家族の構成が違うので、人数を聞く意味はあるのか。

○藤澤委員 逆にあれじゃないですか。人数を並べないで、大人何人、子供何人で、括弧でもして人数入れてもらうぐらいのほうがいいんじゃないですか。そのほうが書きやすいし、例えば2世帯で住んでいるんだったら、おじいちゃん、おばあちゃん入れて、大人4人に子供2人とか、そんな感じのほうが分かりやすいんじゃないでしょうかね。

○事務局 多分聞き方もいろいろあると思うんです。今、3世代とか2世代とかいうよりも、年齢で取っちゃうと、実際にはそれが子供なのか、どうなのかというのは分からないと思うんですね。だから、これ聞き方は非常に難しいかなと。

○藤澤委員 今、だけど、3世代とかないですからね、ほとんど。一緒の家に3世代住んでいるってめったにないですからね。それ考えると、逆に、人数でセッティングするんじゃなくて、何人ですかって聞いちゃったほうがいいですよ。

○事務局 多分、何世代かというか、中身を知りたいのであれば、例えば10代、要するに20歳以下が何人とか、そういうふう聞くしかないんですけども、そこまで細かく聞くことはないかなと思うんで、人数で割り切りみたい。これ人数聞いちゃったというのは、「あなたとあなたの家族」というような聞き方をしているから、これが残っちゃったというところがある。

○藤澤委員 もととのベースからそれを拾ってきているから、こういう形になっているから、その辺は逆に言ったら変えられてもよろしいんじゃないですか。

○山岸会長 お願いします。

○雀部委員 集計なさっている方はすごい大変だろうなとも思っていたんですけど、かなりの労力、集めてきたものも項目が多いものもあるし、これだけのものをまとめるって本当ありがとうございますっていつも思っていたんですけど、業務に支障を来さないのかしらレベルで大変なんじゃないかなと思ったので、もし、もちろん回答するのもそうですけど、集めてきたアンケートを集計する側、まとめる側の人もなるべくそんなにそこまで大変にならないように今していったほうがいいのかなというふうにも思うので、項目が多いものは少し減らす。どんな考えても5ぐらいかなとも思う。こういうのって自分の感覚では思うので。

例えば、アレルギーなんかは細かいので、この分量になるのは仕方ないと思うんですね。だけれども、それ以外のものはあまり項目を増やさなくて、何を指すかなんですよ。このアンケートを取った上でどう生かすのか、何を小金井として問題点をあぶり出して、今後に生かすのが重要なので、その内容、これだと、もちろん細かいので、満遍なくあぶり出されるんですけども、いい意味で偏っていてもいいって言ったらおかしいんですけども、例えばバランスよく食事をとることを目指したいから、今後の施策に生かしていくのかどうかと考えると、全部が全部じゃなくてもいいのかなとも思ったんです。

どうしても今、この議論だけでかなりの時間たっているということは、すごい細かい議論になりがちなんですよ、こういうことって。なので、いつその項目はこのくらいがいいんじゃないということもあっていいと思いますし、全体的に大変だというか、この市のレベルと言ったらあれなんですけど、すごい細かく調べているなと思って、なかなかここまではないと思う。すばらしいことだとは思いますが、みんなが大変になっちゃうかなと思うので、何をこれを取った上でやりたいのかということを経験の中に置きながら考えていったほうがいいのかなというふうに思います。

○山岸会長 そうしますと、人数も、6人と7人で何がというふうになるのであれば、今までの委員の方々の御意見のように、多くても5つまでにしようというふうなことにして、あとはそれ以上というふうなこととか、選択肢がたくさんあるのは、ある意味、答えやすいかもしれないけど、読むのも大変と

いうのもあるので、スリム化していけるものはスリム化していくというようなところの着目で進めていってもよろしいかもしれないですね。

○事務局 問3と問4は同じような形で。

○山岸会長 人数だと、これですね。

○事務局 あと、ごめんなさい、さっき最初言っちゃったからあれなんですけど、順番に確認で5と6は訂正どおりでよろしいですね。次の問7は削除しないで7の1は回答を同じようなものは1つにして選択肢を5～6にする。7の2は自由記述にする。現在の問7については選択肢を増やすという感じでいいですか。

もし何もないければ、アレルギーについてにいてよろしいですか。

○太田委員 7にこだわっちゃって申し訳ないんですが、「不安に思っていること」の不安の内容が、食品の衛生的な安全安心の問題と、経済的なお金がどうのこうのという問題とが選択肢の中にあって、ここは何を聞きたいのかなというのが疑問に思ってしまうところでした。

経済的な不安なのか、健康被害に対する不安なのか、その辺のところくらい分けないと、答えは集計してもあまり、先ほど委員長のほうから前回の結果の御紹介ありましたが、これが出てきて果たして何なのか。

まとまった発言になっていないで恐縮ですけど、ピンクの15ページ問8で特にないが結局圧倒的に多くて、じゃ問題ないのかという裏付けが取れたということになるんでしょうか。

○雀部委員 例えば、食物アレルギーのことについてなどは、食物アレルギーを教えてもらった上で、食物アレルギーのことでお困りのことはありますか。ある場合は一番最後の自由記述欄に御記入くださいという、すごいシンプルな答え方になっているので、食生活で不安か、不安じゃないかというふうな回答にして、不安なことがある方は最後書いてもらうのでも、同じような誘導の仕方でも、もしその不安かどうかのことについて、何か知りたいことがある、そのぐらいでもいいか。

先ほど北脇さんおっしゃっていましたが、いくらでも項目が思い浮かぶことをアンケート内容にしまうと切りがないと思うので、不安なことがありますか、ある方はこちらにどうぞというような誘導で、私たちが例えばこのアンケートが上がってきたときに、最後、あっ、こういう意見が出ているんだというふうに知るような形でもいいのかなと思うので。

○太田委員 雀部さん、まとめていただいてありがとうございます。言わんとすることはそういうことでございます。

○雀部委員 項目が大幅に前回と変わって、またそれはそれで大変な作業が入ってしまうかもしれないですけど、シンプルで、なるべく多くの市民に答えていただいて、より精度の高いものと考え、内

容をシンプルにしていくのがいいのかなというふうに。

コロナで食生活が変わりましたか、何かあれば自由記述のほうにというような、何となく全部そんな誘導じゃ駄目でしょうかね。自分で気になっていることなど御自由にお書きくださいみたいな、最後。

ごめんなさいね、何回もすみません。最後の問35の自由記述のところも、御意見、御感想もそうなんですけど、何か気になることがあれば御自由に記入くださいみたいな感じにして、うまい具合にぼかして、例えば市役所の食育に関する事業で実施してほしいものとかって、ここも項目多いですよね、質問の中にすごく。なので、何か御記入したいことを御自由にお書きくださいみたいな形にして、括弧で例えば何かを聞くんでもいいんですけど、自由記述欄にあとは書いてねみたいな感じの質問でいいのかなって私は思っちゃったんです。

○松嶋委員 ただ、自由記述だと書かない方が多い気がして。

○雀部委員 あ、そうか。

○松嶋委員 選択肢があれば、あ、そうそうと思うんですけど、自由記述だと別れないし。文字を書くのが面倒くさい方が最近増えていて、私も別の事業でアンケートを取らせていただいているんですけど、自由記述欄は真っ白ですね。丸をするところだけは埋まっているんですけど、何かありますかといっても、よほど何か、逆にすごく細かく書く人もいます。読み切れないくらいびっしり書く人か、書かない方かになってくるので、あまり自由記述が多いと、逆にまとまり切れないというか、それをまた分類して分析するのは難しいかなと思います。

ある程度選択肢があったほうが…アンケートの意識も、朝食のこと、この後あると思うんですが、こういうことを知っていますかみたいな形だと、意識の啓発のためにも、このアンケートに答えることがその方の意識向上ということもあるので、ある程度の事例があるといいかなと思います。難しいです。いつもこの案件になると結構悩ましく。

○雀部委員 いや、ちらっと、ごめんなさい、何回もすみません。思ったのは、これからの今話に出てくると思うんですけど、例えば、新しくつくった項目があって、それはすごい見やすくなっているなって逆に思ったのは、写真でこのぐらいの分量って目で見て分かるものだと、見やすさの話だと思うんで

ただ、項目を減らすのももちろんですけど、それか、自由記述欄的な感じで最後に全部というのじゃなければ、その人その人の悩みが知りたいな、悩みというか、意見として知りたいなと思ったら括弧を入れてという感じにしてもいいのかなと思います。やっぱり項目が多いなと思うので。

設問も多いです。例えば、小学生向けたり、保護者向けたりしている設問の数は、16とか17なんですよ、今見たところ。だけど、これ三十幾つあるので、倍ある。しかも、ちゃんと答えなきゃいけないと思って結構考えたりとか、自分の食事どうだったっけなって意外と時間がかかるアンケートで

もあるので、何を知りたいかということ考えたほうがいいかなとは思いますが。

○北脇委員 聞いてもいいですか。このアンケートは計画表をつくるための基となるものじゃないですか。いつも思うんですけど、アンケートに答えて、これ何の役に立っているんだろうと思うんですね。結局、この報告書を見ても分からないんですよ。分かるところもあるんですけど、あまり分からない。考察みたいのは書いてあるんですけど、では、市としてこういう事業を取り入れて、こういう方向にしますみたいな、結局、取っただけ、アンケート聞いただけ、まとめただけで、結果があるんだろうけど、それが市民に分かりやすくなっていないので、結局、そうなっていると回答率も上がらないので、理想といえば、前回の食育アンケートの結果はこちらになっていて、それがどういうふうに事業につながりましたみたいなのが1つあると、読む気がある人だけかもしれないですけど、それをぱっと見てから、じゃ、そういう意図で質問しているんだったら頑張って答えようかなとか、そういうのにつながるなと思いました。ただ、それは理想論なので、結構難しいかなと思います。

もう一つは、回答率を高めたいということなんですが、今、若い人はフォームで質問答えるじゃないですか。それは小金井市としてはやらないんですかね。それをやるんだったら、自由記入も、あと質問がもっと増えても、さくさく行くと思うんですね。年齢的にそういうのが得意な方と、得意じゃない方もいるので、どっちがいいとは言いきれないんですが、集計のことも考えて、申込みフォームを取り入れていくというのも1つの方法なのかなというふうに思いました。

○松嶋委員 私もこの前のアンケートのときに、フィードバックが欲しいので、結局自分が答えた後、ほかの人はどういうふうに思ったのかなってすごく興味があって、小金井市のホームページを調べて、食育の委員をやっているにもかかわらず、どこでフィードバックされるのか分からなくて、結局これを見て、あ、そうだったんです。

食育のアンケートではなくて、環境系のアンケートに答えた後に、それを見て、多分委員の方は見ているのかもしれないんですが、こういうものを。でも、答えた人にはそれがどういうふうに活かされたかというのは分からないので、フィードバックというのは大事なんじゃないかなという意見を前、出したことがあることを今思い出しました。ありがとうございます。

○北脇委員 もしそういうのがあったら、1枚文章、御記入、小金井市の未来のために御記入をお願いします。なお、前年度のは、前回はこちらにそういったものが載っていますみたいなのをちょっと入れていただくと、市の政策に対して興味も湧くし、回答もしようかなという気持ちにもなるので、御検討いただければうれしいなと思います。

○事務局 一応、今のアンケートの結果はホームページ上には載せているのと、アンケートの結果が出たときに、それは市報には書いてあるわけじゃないけど、一部SNSのほうに少しだけ、目ぼしいもの

だけ載せたことはあります。

○北脇委員　じゃ、それがつながるように、1枚紙つけて、QRコードか何かでリンクでびっと読み込めるとか、何とかして検索するとできますという案内を書くみたいな、そんな感じのをしていただくと。

○松嶋委員　お答えいただいたアンケートの結果はいついつここに発表されますぐらいあればあれなんですけれども、忘れちゃった頃に上がっていても、多分分からなくなっちゃう。

○藤澤委員　正直言って、これをインターネットで見ると、すごいわ大変です。途中で嫌になって、やめたくくなります。私もこの間見たときに、えっ、こんなにあるのみたいな。だけど、要約版がこのぐらいのページで来るのであれば、細かくてもいいから、このぐらいのページ、3ページぐらいでアンケートの結果だけで、そこからまた新たに飛ばして、これは内容はどうだったのかって行ってみるんだったら、みんな見やすいと思うんですけど、ただ、その人たちによって好き嫌いが、この項目が好き、この項目は嫌い、興味ある、興味ないということがあって、そこを重点的に見させるんだったら、本当にA4の2ページか3ページぐらいのやつに要約したやつを出して、そこから拾って見せてやるような形にしないと、全部から拾っていくと、正直言って、ちょっと年寄りにはこたえます。

○事務局　健康課長です。

今、アンケートのこのピンクのやつというのは、アンケート集計した結果の報告書になります。それを受けて、どのように市の現状と課題が把握できたかというのは、この計画に載っています。メインなところのアンケート結果というのはちょっとピックアップして、計画に載せて、現状と課題が把握できた上で、その後、市としてこういう施策をやっていきますというのが計画という話になってくるので、このピンクのやつは、本当にアンケート結果を集計したものをまとめたというものになるので、そういう話になってくると、計画書のほうを見ていただいたほうがいいかなと思います。

先ほどアンケートの回答率を高めるために、紙でも今回当然やるんですけど、ウェブのアンケートも実施は予定していますので、そういったところで若い人たちに対しては回答しやすいような環境というのはつくっていきたいと考えています。

○松嶋委員　質問です。ウェブのアンケートは任意の方だけですか。それとも、誰でも例えば市報にこういうアンケートにお答えくださいみたいな。

○事務局　アンケートの対象者に紙のアンケートを送るんですけど、そこにQRコードを載せます。

○松嶋委員　誰もがそのアンケートに答えられるわけではなく、選ばれた2,000名の方。

○事務局　そうですね。2,000人というのは規模を決めているので。

○北脇委員　先ほどの話、ごめんなさい、私が質問したから飛んでしまっって申し訳ないんですけど、最後の自由記入欄に書いていただくという話が何度か出たじゃないですか。問35ですよ。ここなんで

すけど、例えば食物アレルギーのこととか不安なこととかその他に全部書くということになると、どの質問の回答なのかが分からなくなるのかなというふうに思ったので、ウェブのときはその分を回答できるのかな、真下に自由記入欄ができるんですが、紙での回収のときはちょっとそこを考えないといけないなと思いました。

今の状態だったら、私だったらどういうふうに行けば分かるのかなと思って、悩んだ結果、結局書かないとか。あとは、こここのところに問8って書いてもらってから書くとか、何かそういうルールづくりみたいなものを1つ入れてあげると、悩んだ方がこれなら分かるからから書こうかなというのにつながるなと思いました。

○山岸会長 時間も大分押してきましたので、今回は、A4横の両面のほうで問10までの設問について皆様方から御意見をいただきました。本日のまとめとしましては、回答率を上げるため、また、回答の方の御負担を考えた上で、項目はシンプルにできるところはシンプルにする。自由記述は多分、グループフォームか、紙媒体もあるかもしれませんが、その設問の下のところは自由記述があると、あつ、この問8に対しての自由記述だねというふうに分かりやすいのではないかなという意見があったかと思います。

多分次回以降もこちらの内容を検討していくと思うのですが、今回、全体を見たので、また持ち帰って見ていきたいと思います。

○北脇委員 ごめんなさい、1個だけいいですか。すいません。問2の年代なんですけど、18歳から19歳の欄をつくってくださったということなんですけど、これやっぱり10代20代にしてしまって、70以上は70歳、80歳がいるにも関わらず70以上になっているので、そこは1と2はまとめてもいいのかなと思いました。でも、わざわざつくったかなと思って言わなかったんですけど、前回のを見ていたら10代20代となっているので、やはり集計の手間と、あと項目を減らすのを考えて、ここは1番と2番はくっつけていいのかなと思います。

○山岸会長 ありがとうございます。

○事務局 年代をくっつけるのは皆さんよろしいですか。実際には10代は、18、19歳。

○山岸会長 今回はそれでもいいかなと。

○事務局 問3と問4に関しては5つぐらいでということなので、じゃ5番目は5人以上でよろしいですね。自由記述欄については、それぞれ設問の下におきます。

さっきグループフォームでやれるかどうかというのは、一応私たち事務局としてはウェブで回答できる予算を取ったつもりなんですけれども、実際に決めるのは入札という形になるので、じゃ確実に思うように行くかどうかというのは今の段階で断言ができないので、そのことについては保留みたいな形に

していただけたらということで、できれば設問の下に答えていただきたいということで、理解でよろしいでしょうか。時間的にも、じゃ、今日はここまでということで。

○山岸会長 ありがとうございます。

そうしましたら、あと、報告事項をお二方からいただきたいと思っております。まずは、食育ホームページ委員からの報告ということで、食育ホームページ委員のほうからよろしくお願いいたします。

○雀部委員 食育ホームページ、前回以降の話なんですけれども、レシピは12月、1月、2月までのものが出ています。12月は松嶋委員のほうのカブの茶わん蒸し。それから、1月が今回初めてレシピを出された三毛委員の里芋のカレー煮。あと、2月は、こちらのメンバーではすけど、長ネギの豚バラ巻きの3つ。カブと里芋と長ネギを使ったレシピを載せています。

作った方でちょっと補足あれば、あまり時間はないと思うんですけど、作った方、せっかくいらっしゃるので、紹介いただければなというふうに思います。

○松嶋委員 では、12月のカブの茶碗蒸しなんですけど、こちらのほうは東京都さんの野菜を使ってというJAのほうの依頼で子供料理教室向けに作ったレシピです。それが好評でもありましたので、こちら簡単でおいしいということで、カブをすりおろして、ミルクと一緒に卵と一緒にただレンチンするだけの簡単な茶碗蒸しで、ちょっと口当たりもいいので、カブはなかなか和風にしか食べないわということなので、洋風にしてみた次第です。

それと、飛んでしまうんですが、こちらのメンバーの長ネギのほうも私のほうがちょっとお手伝いをさせていただいているので、長ネギのほうも、なかなか長ネギも洋風料理には使わないので、使ったらどうかということで、今回提案させていただきました。豚バラ巻きで中がとろとろになっておいしいので、今ちょうど旬ですので、食べていただきたいと思って出しております。

あとは、三毛さん、よろしくお願いいたします。

○三毛委員 ホームページの委員になって初めてのレシピ作成でしたが、料理はずっと家庭でやっていたので、別に苦にはならないことだったので、レシピをやったらとメンバーの人に言われました。1月は里芋が旬ということで、里芋が昨今、冷凍とか皮むきしたものを真空パックみたいにして売られて、それを使うことのほうが圧倒的に多いと思うんですけども、野菜の値段が高騰している中で、旬のものは値段も下がりますし、里芋も、ちょっと手間ではありますけれども、こうやって実際に買って来て、皮をむいてということをする、食感も大分違いますので、ぜひ旬のときには作っていただけたらいいなという気持ちで作りました。

初めての経験だったので、非常にドキドキしながら、作ったんですけども、ホームページに上げるところは全てほかの委員の方にやっていただいたんで、次からは自分一人でやるようにしたいなと思っ

ております。

○山岸会長 ありがとうございます。

○雀部委員 あと、まだ報告があるのでいいですか。すいません。

次は栄養成分のほうのクイズ。ここのところずっと減塩がテーマでやっております、12月は通常のチーズと減塩のチーズについて、どちらがという話ですね。特にいつも言っているんですけど、解説を読んでいただきたいなというふうに思っているんで、読んでいただけたらと思うんですけど、1月については、通常のノンオイルのツナ缶と食塩の無添加、オイルも無添加のツナ缶とどう違うのかという話。

それから、2月は練り物を4種類出して、その中で一番塩分が少ないのはどれでしょうというクイズ形式なんですけれども、かまぼことさつま揚げとはんぺんとつみれの4種類です。おでんに使うような材料が多いので、ちょっとタイムリーだったりすると思うんですけども、血圧が気になる方は、あなたならどちらを選びますかという質問形式、クイズ形式なので、チャレンジしやすいかなというふうに思います。

あと、実際のスーパーマーケットなどで売られている身近な商品で比較してくださっているんで、とても皆さんにとって生活にとって分かりやすいかなというふうに、実際自分が買うときどうしようというふうに考えるときに分かりやすいかなというふうに。手に取るときにちょっと気にしていただけると、こちらとしてはこういうことを企画提案した意味があるのかなというふうに思うので、実際にやっていただいた太田委員のほうに説明をしてもらいたいと思います。

○太田委員 リアリティが出るように、商品を買ってきて、栄養成分表示パッケージにモザイクをかけて出しているんですが、問題は、私が高血圧なので、買ってきて写真を撮った物が食べれない。自分の戒めになってしまっているというところがちょっともったいないところです。

あと、レシピを考えてくださっている方々も減塩を意識してくださるようになったのは大きな収穫かなと思っております。

○雀部委員 そのとおりです。

○太田委員 以上です。

○雀部委員 ぜひ実際に見ていただけたらと思います。

あと、いつも言っていて、ちょっと苦言のようになってしまって申し訳ないんですけども、課題としては、ホームページを開くと相変わらず、実際に本当にこの場で開けるかといったら開いてもらいたいぐらいなんですけど、幾つかちょっと問題を抱えていて、なかなか内容を充実させることにはとても頑張っているんですけども、せっかく記事をアップしても皆様にお勧めできないような事象が幾つか

起こってしまっているなということがあって、1つは、ホームページ開くのにとても遅いので、若い人なんかは待ちきれないかなというのと、あと、しばらく表示して、出るときと出ないときとあるんですけど、表示していると、小金井スタイルをもっと見るというふうに出て、今すぐ購読して続きを読んで、全てのアーカイブにアクセスしましょうという文言が出るんです。メールアドレスを記入するようになってきちゃうんです。

でも、一切それを本当は無視して、続きを読むというところから読んでいただければスムーズに読めるんですけど、そうすると、例えば、本当に純粋な人はそこにメールアドレスを入れて購入しないと読めないのかというふうに思ってしまうがちで、これシステムの問題なんですけど、それを早くなくしてもらいたいなというふうに思っています。私たちはこれを決める権限に全くないので、早く解消されればいいなというふうに思っています。

あとは、携帯でやると特に分かると思うんですけども、一番最初、一番上に安全ではありませんというふうに出るので、これも市が委嘱されてやっている身としてはちょっとつらくて、料理教室だったりとか講習会とかでこういうホームページがありますよってPRとして御紹介したいんですけど、なかなかうまく開けないって言われたりとか、これ大丈夫なのって言われたりということも実際にあるので、そのあたり改善できたらなというふうに思っています。

○山岸会長 ありがとうございます。それでは、。

○松嶋委員 こちらについてちょっと。

○雀部委員 お願いします。

○松嶋委員 こちらのほう、私、農業委員もしているのですが、農業振興会、あとはJAむさしなどの御協力で食育カレンダーというのを毎年作っておりまして、こちらのほうに、開いていただくと、私たちが1月から12月まで作ったレシピが載っています。

それで、それをいつも連携してやっているんですけど、今回、QRコードをつけていただけというふうをお願いしていたんですが、私は、この代表のページではなく、その上の野菜の例えば大根であれば大根の説明ページ、または大きなレシピページのほうのQRコードを載せてくださいとメールでお願いしていたにもかかわらず、開いてみたら、大根のカレーのページに飛んでしまって、結局これ見て、これがスマホで見られて何がという感じになってしまって、あまり意味がなく、このQRコードは別の、大根でしたら大根の解説ページ、さっきも言ったんですけど、大きく食育ホームページにつながるようにしていただきたいということを要望しました。

○山岸会長 ありがとうございます。

○山岸会長 次に、山田さん、お願いいたします。

○山田委員 多摩府中保健所から、からだ気くばりメニュー店の情報提供をさせていただきます。

前回も少しお話しましたが、「からだ気くばりメニュー店」というのは東京都の保健所で令和6年10月から開始された事業です。1食当たり120グラム以上の野菜を使用しているメニューがある飲食店である「野菜メニュー店」をリニューアルし、野菜に加えて、主食・主菜・副菜を組み合わせた1食分のセットメニューである「栄養バランス」、減塩に配慮したメニューや工夫がある「減塩サポート」が追加されました。野菜メニュー店から移行していただいて、現在52店舗になっております。

3月下旬から東京ウォーキングマップなどとリンクして、東京都で広く広報していく予定になっております。多摩府中保健所でもホームページで現在広報していますが、さらに来年度6月の食育月間、9月の食生活改善普及運動月間で重点的に市の皆さんや関係機関と連携して、普及していく予定です。

保健所では、野菜をたっぷり食べること、主食・主菜・副菜をそろえること、減塩について、また、「からだ気くばりメニュー店」について住民の皆様に広く広報していく予定です。引き続きご協力よろしくお願いいたします。以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、以上で議案のほうは終了となります。

事務局のほうから次回につきましての御案内お願いいたします。

○事務局 次回につきましては、また例年と同じなんですけど、5月中旬から下旬の水曜日の午後2時からを予定しております。また、今回の会議録の案ができましたら、前回同様メールにてお送りいたしますので、御確認等、お忙しいところだとは思われますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○山岸会長 また決まり次第、御案内したいと思いますが、5月中旬から下旬、水曜日の午後2時ということで予定しているそうです。よろしいですか。水曜日です。よろしいですか。はい。

すいません、時間もちょっと超過してしまいましたが、以上をもちまして、令和6年度第4回小金井市食育推進会議を終了したいと思います。皆様、本日はお疲れさまでございました。ありがとうございました。

— 了 —